

## 令和3年度第1回葛飾区障害者施策推進協議会(書面開催)におけるご意見等

No.	ご意見等	区の方考え方等	提出者	担当課
<b>資料1 障害者施策推進計画における重点的な取組の達成状況及び令和3年度事業計画について</b>				
1	<p>P13【障害者スポーツの推進】</p> <p>■令和3年度の取組内容について 卓球大会の実施はどうでしょうか。聴覚障害者として、良いスポーツだと思う。</p>	<p>聴覚障害者限定の卓球大会は実施していませんが、既に聴覚障害者が参加いただける体制が出来ています。また、卓球に限らず、各競技大会において、健常者と障害者が共に出場できるように配慮していきます。</p>	小宮委員	生涯スポーツ課
2	<p>P14【グループホームの整備・運営支援】</p> <p>P19【障害者通所施設の整備支援】</p> <p>将来的に充足される事を切に願う次第です。 よろしく願いいたします。</p>	<p>医療の高度化、障害者の高齢化および重度化により、障害者の多様なニーズに対応できる施設整備が重要と考えます。特性に応じた施設整備が行われるよう、具体的な支援策を検討してまいります。</p>	田村委員	障害福祉課
3	<p>P17【地域生活支援拠点の整備】</p> <p>地域生活支援部会での意見等の報告をお願いします。</p>	<p>令和3年7月に第1回部会を書面開催により行いました。その結果、今年度は「緊急時の受け入れ・対応」、「相談」を重点的に検討すること、具体的、専門的な検討をするために分科会を設置することの了承が得られました。</p> <p>「緊急時の受け入れ・対応」について、第1回部会での意見を「入口・出口支援のコーディネート機能の構築」、「本人情報の把握と利用促進」、「予算化の必要性と具体的施策」の3つの論点に整理しました。</p> <p>9月13日に「緊急時の受け入れ・対応」を検討するための分科会を開催し、論点ごとに意見交換、情報共有をしました。今後も部会や分科会でさらに検討してまいります。</p>	吉永委員	障害福祉課

No.	ご意見等	区の考え方等	提出者	担当課
4	<p>P20【障害者通所施設の整備支援】</p> <p>■令和3年度の取組内容について</p> <p>「東京都重症心身障害児（者）通所事業」の地域施設活用型の施設整備において、区独自の支援方法もご検討いただき、医療的ケアを必要とする方々も安心して通所できますようお願いいたします。</p>	<p>令和3年度中に子ども発達支援センター、令和4年度から子ども発達支援事業所、障害者生活介護事業所他2施設の生活介護施設において「東京都重症心身障害児（者）通所事業」の地域施設活用型の指定申請を行う方向で検討中です。令和3年度から新たに区独自の「重度障害者支援補助」「利用者欠席補助」を始めました。今後も重度障害者や医療的ケアが必要な方の現状とニーズを把握しながら必要な支援策を検討してまいります。</p>	吉永委員	障害福祉課
5	<p>P54【早期の発達支援体制の整備】</p> <p>■令和3年度取組内容5について</p> <p>保護者に対する啓発として、具体的にどのような取り組みがなされる予定ですか。</p>	<p>具体的な取り組みにつきましては、個別対応としては面談内容を踏まえ、保護者の方のお子さんの理解や受入度合いに留意しながら発達についての情報提供を行っています。</p> <p>また、集団対応としては、5歳児健康診査事業において保護者アンケート提出後のフォロー企画として、発達についての理解を深める講演会を毎年実施しています。さらに令和3年度からは、保護者同士が悩みを共有しながら、発達・子育てについての理解を深められるようにグループワークを取り入れた連続セミナーを予定しています。</p>	小堀委員	子ども家庭支援課
6	<p>P61【特別支援教育の推進】</p> <p>■令和3年度取組内容4について</p> <p>アイリスシート学齢期版支援シートは、小学校から中学校への移行の際、中学校から高校への移行の際にもスムーズに利用できるよう、小学校だけではなく、中学校への周知も積極的に行っていただけるようお願いいたします。</p>	<p>中学校に対しても、アイリスシート学齢期版支援シートの取組について十分に周知を行い、切れ目ない支援の促進を図ってまいります。</p>	小堀委員	学校教育支援担当課

No.	ご意見等	区の考え方等	提出者	担当課
<b>資料2 第5期葛飾区障害福祉計画及び第1期葛飾区障害児福祉計画の令和2年度実績について</b>				
7	新型コロナウイルス感染症のための減少は残念です。令和3年度として多く実施したい。	移動支援事業等、新型コロナウイルス感染症が減少の一因と考えられるものがございます。今後につきましても状況を注視しつつ、福祉サービスを提供する事業者が適切にサービスを提供していけるよう、感染症対策について支援してまいります。	小宮委員	障害福祉課
8	ほぼ3年間の増減はない様に見えました。移動や余暇に関しては、コロナ禍の緊急事態宣言の影響があった様に見えるので、計画の根拠としては配慮が必要かと思えます。	「第6期葛飾区障害福祉計画」及び「第2期葛飾区障害児福祉計画」につきましては、平成30年度から令和元年度までの実績に基づき、見込みを算出し策定しております。そのため、新型コロナウイルス感染症の影響は基本的に考慮していないものとなっております。しかし、令和2年度の実績につきましては、移動支援事業等、新型コロナウイルス感染症の影響が見られる事業があるため、次期計画の策定にあたっては、今後の動向に注視してまいります。	大矢委員	障害福祉課
<b>資料3 障害者施設における現状と需要調査集計結果について</b>				
9	他の施設においても、同様の調査を実施していただくのが良いと思います。また、利用前の方々のニーズ（潜在的なニーズ）把握の方法はないのでしょうか。また、利用している方の声を拾えたらと思いました。	日々のケースワーク業務や相談支援事業所等の関係機関と連携する中で、潜在的なニーズの把握に努めてまいります。	大矢委員	障害福祉課

No.	ご意見等	区の考え方等	提出者	担当課
<b>その他</b>				
10	<p>防災拠点化は、具体的に進んでいくと良いと思います。          (取組結果は、数値が見えており分かりやすいです。)          実績が、「実施」ではなく、数値目標等にならないでし          ょうか。</p>	<p>平成30年3月に策定された「葛飾区障害者施策推進計画」          につきましては、目標を「実施」と設定されていることか          ら、進捗状況等をご報告させていただく本協議会の資料にお          いても、実績を「実施」と表記しておりますが、数値目標等          の方が分かりやすいとのご意見を踏まえまして、より分かり          やすい取組結果の報告ができるよう努めてまいります。</p>	大矢委員	障害福祉課